

令和4年度 第2回 学校運営協議会議事録要旨

下野市立古山小学校

1 日 時 令和4年10月18日(火) 13:30～15:30

2 会 場 古山小学校 ミーティングルーム

3 出席者

○出席委員 地域住民(再任) 小林 靖
地域住民(再任) 中川 賢一
保護者(再任) 須藤 勇樹
地域住民(再任) 大垣 美穂
保護者(再任) 関口 保洋
地域住民(新任) 橋本 英男
校長 秋山 貴子

○出席職員 教頭 生澤昌幸
教務主任 白石孝子

○その他の出席者 地域学校協働活動推進員 橋本 俊明

○欠席者 保護者(新任) 紺野 智史
地域住民(新任) 青木 浩美
学校教育課指導主事 土田 礼巳

4 内 容

委員長 (1) あいさつ
子どもたちを取り巻く環境が大変厳しい状況であるが、この場の審議が子どもたちのためになるようお願いしたい。

(2) 校内巡視

(3) 協議

校長 ①校長現状報告

10/7に大過なく前期終業式を行えた。しかし、本校児童等の感染状況から、7月末に学級閉鎖、学校閉鎖となり、それに伴い夏休み初めに予定の個人面談を中止し、心配をかけた。

夏休み前のプール指導は、PTA 役員の見守り支援を得て無事に実施できた。

PTA 主催の姿川サイクリングロードの除草も2回実施し、多くの保護者が参加した。5、6年生が、いちご一会国体のサッカーを観戦させていただき、本校体育館ではハンドボールの練習の様子を多くの児童が見学させていただいた。10/12に児童表彰が行われ、市長からメダル、教育長から賞状をいただき、その様子が下野新聞の記事となった。昨日は就学時健診も実施できた。

今後は、11/18に運動会を予定している。今年度も2部制、保護者2名の見学を可とした実施とする。次年度こそは児童全員で実施したい。

感染症対応のマスクの着用については賛否両論いろいろな意見をいただいている。学校としては、校舎内ではマスク着用、校庭など屋外ではマスク無しでの活動を進めているところである。

教務 ②学校行事等 【資料参照】

③協議

教頭 ○通学路整備要望ヒアリングの報告 【資料参照】

委員長	事故が起きてからでは遅いから、毎回要望を出していただきたい。自治会とは、通学路等の状況についてどのように共有しているのか。要望書を自治会長名で市に出してもらおうといいのではないか。
教頭	学校から自治会にどのような方法で依頼をしたらいいか。
橋本	自治会の要望書が必要なら、私が話をして、要望書を作成する。
委員長	下古山の方は、私が話をする。自治会でも危険箇所を把握したい。
校長	お願いするときは、それぞれの自治会に学校からお願いする。
教頭	○防犯ボランティア【資料参照】
教頭	安全ボランティア隊（組織）をどのように立ち上げていけばいいか。去年は市からいただいた案内を自治会で回覧していただいたが、応募がなかった。
校長	この組織は、学校運営協議会が主となって立ち上げていただくものである。防犯協会からいただいている予算で、地区によって、缶バッチやベストなどのグッズを作り、活動の際に身に付けていただいている。学校単位で考えて作っている。
中川	まずは、ここの委員が組織の一員となるとよい。
教頭	できれば、児童の保護者への案内だけではなく、地域の方へ案内したい。
委員長	自治会から、募集の案内をしていただくといいのではないか。案内の中には、どのようなグッズ（缶バッチやベスト等）を渡すのかも掲載する。
橋本 推進員	石橋北小は5月に募集をかけた。活動の内容や参加の形態を「わんわんパトロール」としたので、散歩バックということだった。
校長	わんわんパトロールは、一つの方法であるので、それに絞る必要はない。
須藤	タオルではどうか。また、安全ボランティア隊は、保護者でもいいのか。
校長	保護者も大丈夫である。
教頭	グッズの発注等は、委員さんか、学校か。
校長	案内の文面等は、既に行っている学校を参考にさせていただく。グッズは、タオルでやってみるということで、請け負う業者等を探していきたい。委員それぞれで心当たりがあれば連絡いただきたい。
教頭	募集の案内について、自治会の回覧や委員が直接渡すなどしてお願いしたい。
教頭	○その他 運動会の開催について、昨年度と同様2部制で行う。委員の皆様には駐車券をお配りさせていただく。招待席はないが、是非子どもたちの頑張る様子を見たい。招待できるのは、運動会と卒業式のみになる。 ふれあい学習推進委員会兼学校運営協議会研修会について、10/28までに参加の有無の連絡いただきたい。 (その他、不審者情報の伝達)

以上